

茨城大学工学部研究室訪問交流会のご案内

主催 茨城産業会議／茨城大学
 共催 ひたちものづくり協議会
 茨城県産業技術イノベーション研究会
 いばらき成長産業振興協議会

茨城産業会議と茨城大学は産学連携事業として、茨城大学工学部研究室訪問交流会を行っております。本交流会は、大学の有する教育研究の成果を地域の皆様に還元し、情報交換を通じ、産業経済界の活性化を目的に開催しているものです。茨城大学とパートナーとして協力し合い、相互に発展できることを期待して、下記のとおり交流会を実施いたします。実験室、研究室の見学では、実際にそこで研究を行っている茨城大学生が中心となって説明を行うとともに、工学部学生の就職やインターンシップの状況もご紹介いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 期 日 令和元年12月17日(火) 13時30分～18時00分
2. 会 場 茨城大学工学部 N4棟 (小平記念ホール)
茨城県日立市中成沢町4-12-1 TEL 0294-38-5004(茨城大学工学部総務係)
3. 参加対象者 法人個人を問いません
4. 参加費 無料
5. 申込み方法 参加申込書に所定事項を記入の上、下記にFAXまたはメールで送付願います。
※申込締切日：12月9日(月)までにお申込みください。

連絡先

団体名	連絡先
茨城大学研究・社会連携部産学連携課	TEL 0294-38-5005 FAX 0294-38-5240 メール: sangaku@ml.ibaraki.ac.jp
茨城県経営者協会 (茨城産業会議事務局)	TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 メール: info@ikk.or.jp
茨城県商工会議所連合会	TEL 029-226-1854 FAX 029-224-7117
茨城県商工会連合会	TEL 029-224-2635 FAX 029-226-0955
茨城県中小企業団体中央会	TEL 029-224-8030 FAX 029-224-6446

6. 内 容

- 13:30～ 挨拶 茨城県商工会連合会専務理事 野澤 勝
茨城大学 理事・副学長、研究・産学官連携機構長 尾崎 久記
- 13:40～ 工学部の教育研究について
茨城大学工学部長 増澤 徹
- 13:50～ 工学部の就職・インターンシップ状況について
茨城大学工学部 キャリア支援室コーディネーター 見田 洋子
- 14:00～ 講演・「AI・ICT次世代広域応用教育研究センターの活動報告」
茨城大学工学部 教授 黒澤 馨
- 14:20～ 講演・「材料加工科学教育研究センターの活動報告」
茨城大学工学部 准教授 西野 創一郎
- 14:40～ パネル展示閲覧 及び 休憩
 ・公開研究室の紹介
 ・茨城県産業技術イノベーションセンター研究成果
 ・茨城大学研究・産学官連携機構について

- ・フロンティア応用原子科学研究センター研究成果
- 15:00～ 研究室訪問・見学方法の案内
- 15:10～ 研究室訪問
工学部附属教育研究センター関連研究室見学、公開研究室訪問
- 17:00～ 懇親交流会(N4棟 小平記念ホール) ※アルコール無し
17:30 まで学生によるパネル紹介あり
 - 1) 挨拶・乾杯 茨城大学学長特別補佐、研究・産学官連携機構副機構長 金野 満
 - 2) 歓談
 - 3) 閉会挨拶 茨城大学工学部副学部長 小林 芳男
- 18:00 終了
(※研究室訪問終了後は、アンケートの記入にご協力ください。
ご提出はN4棟 (小平記念ホール)の受付、または最終訪問研究室の学生へお渡しください。)

7. 公開研究室の紹介

(※写真撮影は、原則として禁止させていただきます。予めご了承ください。)

I. 茨城大学工学部附属教育研究センターの研究室

(1) ライフサポート科学教育研究センター

研究室名：「車両計測・制御研究室」 W1棟2階203室
 担当教員：機械システム工学領域 道辻洋平 准教授
 見学内容：機械工学における計測・制御技術を活用し、鉄道車両や自動車の安全性向上に資する研究に取り組んでいます。研究紹介のパネルや動画、スケールモデル鉄道車両実験装置やドライビングシミュレーターについて説明します。

(2) 材料加工科学教育研究センター

研究室名：「nLab. ナノ工学研究室」 E3棟1階107室
 担当教員：機械システム工学領域 周立波 教授 / 清水淳 教授 /
 小貫哲平 准教授 / 尾畷裕隆 准教授
 見学内容：研削技術による半導体ウエハの完全表面創成と薄化技術（研削装置、計測装置）、サファイアウエハの先進加工技術（砥石製造、脆性-延性研削加工制御、加工変質層評価技術）及び計測・無線通信・AIを活用した Smart Factory への取り組み、などを紹介します。

(3) グリーンデバイス教育研究センター

研究室名：「材料力学研究室」 W1棟4階402室
 担当教員：機械システム工学領域 森孝太郎 講師
 見学内容：圧電材料、磁歪材料のように力を電気や磁気に変えるスマート材料を使ったデバイスについて紹介します。具体的には、振動を利用した環境発電の研究やスマート材料を使った複合材料等について紹介していきます。

(4) 防災セキュリティ技術教育研究センター

研究室名：「構造地震防災工学研究室」 S3棟1階W107室
 担当教員：都市システム工学領域 呉智深 教授 / 車谷麻緒 准教授 / Huang Huang 研究員
 見学内容：現在、都市・交通・エネルギーなどの各種インフラストラクチャは、自然災害や環境問題に対してスマート化が重要視されています。本研究室で実施されている、スマートセンシング技術、複合材料技術及びシステム統合技術の開発と事例を紹介します。

(5) AI・ICT次世代広域応用教育研究センター

研究室名：「佐々木研究室」 S1棟5階ラウンジ

担当教員：情報科学領域 佐々木稔 講師

見学内容：人が日常生活に使う言葉をコンピュータに理解させる「自然言語処理」について研究しています。文書の分析や要約、文の自動翻訳に役立つ、言葉に含まれる単語の意味を自動的に識別するシステムについての研究紹介を行います。

(6) 次世代モビリティ教育研究センター

研究室名：「エコエナジー研究室」 W4棟

担当教員：機械システム工学領域 金野満 教授 / 田中光太郎 教授

見学内容：内閣府主導の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第1期（平成26～30年度）の「革新的燃焼技術」において、超希薄燃焼・高過給技術により、最大熱効率50%及びCO2 30%削減（2011年比）を達成した世界最高効率のガソリン機関をご覧いただけます。

II. 若手研究室

①研究室名：「山内紀子研究室」 N6棟3階301室

担当教員：物質科学工学領域 山内紀子 助教

見学内容：ウイルスやタンパク質と特異吸着する糖鎖を表面固定化した微粒子、金ナノ粒子を生分解性ポリマーで被覆した微粒子、外部磁場応答性をもつ微粒子などを作製しています。本見学会では、これらの微粒子の作製法を紹介します。

②研究室名：「電力・エネルギーシステム研究室」 E6棟4階409室

担当教員：電気電子システム工学領域 内田晃介 助教

見学内容：本研究室では、電力システムを対象としたエネルギーマネジメントや電力システムの活用に関する研究をしています。見学会では太陽光発電システムを日射センサとして用いる技術を紹介します。

茨城大学工学部研究室訪問交流会 参加申込書

(令和元年 月 日申込み)

会社名・団体名			
参 加 者	所属・役職名	ご芳名	見学を希望するセンターにチェックをしてください
			<input type="checkbox"/> (1)ライフ <input type="checkbox"/> (2)材料 <input type="checkbox"/> (3)グリーン <input type="checkbox"/> (4)防災 <input type="checkbox"/> (5)ICT <input type="checkbox"/> (6)次世代 <input type="checkbox"/> 若手① <input type="checkbox"/> 若手② ※最大3つまで
			<input type="checkbox"/> (1)ライフ <input type="checkbox"/> (2)材料 <input type="checkbox"/> (3)グリーン <input type="checkbox"/> (4)防災 <input type="checkbox"/> (5)ICT <input type="checkbox"/> (6)次世代 <input type="checkbox"/> 若手① <input type="checkbox"/> 若手② ※最大3つまで
			<input type="checkbox"/> (1)ライフ <input type="checkbox"/> (2)材料 <input type="checkbox"/> (3)グリーン <input type="checkbox"/> (4)防災 <input type="checkbox"/> (5)ICT <input type="checkbox"/> (6)次世代 <input type="checkbox"/> 若手① <input type="checkbox"/> 若手② ※最大3つまで
今回見学をされる研究室への 質問等をご記入ください。		_____ 研究室	
懇親交流会への参加希望		有(ご芳名: _____) ・ 無	
訪問交流会でご案内をする研 究室以外に訪問したい研究室 がありましたら、ご記入くださ い。 (希望する場合は、研究室と調 整しますので、お早めにお申込 ください。)		12/17(火)工学部研究室訪問交流会当日ご覧いただけるように、見学を希望される研 究室と調整後、大学からご連絡をさせていただきます。 なお、ご希望に添えない場合はご了承ください。 研究室は、茨城大学工学部HP (工学部教員一覧) をご覧ください。 http://www.eng.ibaraki.ac.jp/research/staff/index.html _____ 研究室 _____ 研究室	
申込担当者の 所属・ご芳名		TEL: FAX: E-Mail:	

【コーディネーターとの技術相談について】

茨城大学研究・社会連携部産学連携課では、産学官共同研究や技術相談の窓口を開いております。
今回の交流会を機会に、産学官の連携・技術相談についてのご要望をお伺いいたします。
相談希望がございましたら下記にご記入ください。

後日、研究・社会連携部産学連携課の担当者から連絡をさせていただきます。

- ・大学研究者に技術相談をしたい。 ・技術、商品等の共同開発を行いたい。
- ・今回の訪問研究室以外の研究室を訪問したい。 など

ご相談等の内容 例)産学共同研究で 〇〇の開発を行いたい	
ご相談者の役職・ご芳名	
ご相談者の連絡先	TEL: FAX: E-Mail: